

中日病院
だより



篠原孝明
整形外科部長



関節リウマチによる手の関節の変形の症例

関節リウマチは、関節内に炎症が起き、その部分が腫れて痛くなります。病原菌から体を守る免疫機能の異常が原因とされます。症状が進むと、関節が変形し、思うように体が動かせなくなることがあります。

最近は薬物治療の進歩で痛みや関節の変形は少なくなっています。ただ、

手に関しては「薬の効果が不十分」「以前の炎症のために手が変形している」との理由で治療希望者が増えています。

関節リウマチの手の症

状は、手首や指の付け根、指先から二番目の関節が腫れて痛みます。症状が進むと指の関節が曲がつたまになつたり、指三、

四本がそろって斜めになります。当院は、

つたりします。当院は、関節リウマチの手の変形に対する治療を積極的に行っています。

変形し始めた時点であれば、装具やリハビリで治療することも可能です

し、変形の程度が少ないほど治療効果は期待しやすくになります。関節部分

・談

機能回復リハビリ大切

（篠原孝明整形外科部長

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。周中日病院 052(961)2491

